

御蔵島村 議会だより



平成27年出初式 子供たちの放水体験

～掲載記事～

- 1 議長の卓論
- 2 第4回定例会について
 - 1) 議決事項
 - 2) 一般質問
- 3 議長活動報告

議長卓論

平成27年1月5日
議長 栗本 道雄

村民の皆様 新年明けましておめでとうございます。

昨年暮れから新年にかけて6日間の定期船全便欠航がありました。不便無く過ごすことが出来たでしょうか？

昨年12月には衆議院議員選挙が行われ、みなさんご存じの通り自民・公明の連立与党が引き続き政権を担当する事となりました。伊豆・小笠原諸島を含む東京第3区からは2名の衆議院議員が再選されました。引き続き島の置かれた状況を伝え、様々な場面で国からの協力をお願いして行きたいと思っております。

前回お伝えした、御蔵島議会による新潟県粟島浦村への視察は悪天候に阻まれ残念ながら中止となりました。離島の抱える交通手段の問題は特に小型小離島には全国共通の問題とすることを再認識させられました。時間的、予算的問題から今年度、再度視察を行うのは無理の状況です。しかし後日、粟島浦村から視察用資料が届きありがたく拝見させて頂きました。児童生徒数の減少と島民数の減少は、引き続き議会はもとより関係機関と話し合い、対策を打ち立てて行く必要がありますので村民の皆様も良い知恵があれば是非お寄せ下さい。人口の減少は最重要項目の1つです。

さて、昨年も日本各地で台風や集中豪雨、火山の噴火により尊い命が多数奪われました。この場を借りて亡くなった方々のご冥福をお祈りしたいと思います。

残念ながら自然災害の発生を防ぐ事は出来ませんが、「備えあれば憂いなし」と言う言葉通り、普段から防災意識を高め、備えることで被害を少なくすることは可能です。私達は都会に住む人よりもある程度防災意識は高いと思われそうですが、「想定内」となるよう更なる備えが必要です。御蔵島の元々持っている自然の中にこそ、そういった物があるはず。首都直下地震等、東京が被害を受け、島が孤立した時を想定して村と共に様々な対策を考え実施して行きたいと思っております。

本年が皆様にとって良い年になるよう議会もよりいっそうの努力をしてみたいと思っております。みなさんの声を是非、議会や村役場へお寄せ下さい。

平成26年第4回定例会 議決事項

平成26年第4回定例村議会が、12月11日（木）に開会され、26年度補正予算5件、条例2件、その他4件を議決しました。議決された議案は、次のとおりです。

〔補正予算〕平成26年度

(単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計（3回）	1,156,527	1,399	1,157,926
一般会計（4回）	1,157,926	△4,258	1,153,668
航路会計（2回）	61,569	△831	60,738
簡易水道会計（2回）	18,058	△934	17,124
国保会計（直診）（2回）	83,778	0	83,778

〔条例他〕

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
議案第1号	御蔵島村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	平成26年12月11日	原案可決
議案第2号	御蔵島村長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	平成26年12月11日	原案可決
発議第1号	協同労働の協同組合法（仮）の速やかな制定を求める意見書（提出：黒田正道議員）	平成26年12月11日	原案可決
発議第2号	手話言語法制定を求める意見書（提出：栗本範一議員）	平成26年12月11日	原案可決
発議第3号	【再提出】解釈改憲による集団的自衛権容認に反対する意見書（提出：栗本範一議員）	平成26年12月11日	否決 (賛2反2につき 議長採択)
発議第4号	鈴原湿原の保全についての意見書（提出：広瀬鹿雄議員）	平成26年12月11日	原案可決

そのほか、任期満了に伴う御蔵島村選挙管理委員の選挙が行われました。

議案の解説

御蔵島村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成26年度人事院勧告に基づく改正。

御蔵島村長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例

一般職員の給与改定に伴う改正。

平成26年度一般会計補正予算（第3回）

専決処分。衆議院議員選挙費の計上。

平成26年度一般会計補正予算（第4回）

海岸漂着物清掃事業の追加、本沢ヶ下住宅地盤改良工事の追加、職員住宅建設工事の翌年度繰越し等。

平成26年度航路事業会計補正予算（第2回）

貨物取扱料の減額、作業車両のリース料の減額。

平成26年度簡易水道会計補正予算（第2回）

工事差金の精査等。

平成26年度国保会計補正予算

給与改定に伴う職員手当の増額。

協同労働の協同組合法（仮）の速やかな制定を求める意見書

協同で出資し、経営し、働くという働き方を実現するための法律の早期制定を求める意見書。

手話言語法制定を求める意見書提出のお願い

手話が音声言語と対等な立場である、とする法律の早期制定を求める意見書。

解釈改憲による集団的自衛権容認に反対する意見書

現内閣における集団的自衛権の行使に、内閣・衆・参議院に強く反対することを訴える意見書。

鈴原湿原の保全についての意見書

鈴原湿原の保全に対する村議会からの国、都への要望。

一般質問内容

広瀬鹿雄 議員

国の地方創生法について

【質問】 衆議院解散前に法案が成立したが、御蔵島村としての対応について伺いたい。

民間団体に調査委託をして、アドバイスをもらう。こういった政策は考えていないか。

(回答) 村長：日本全国、ひいては伊豆諸島の離島はそれぞれ違うが、御蔵の島づくりで一番大切な問題、優先度の高い問題は、住宅建設。人がいなくては前に進むことができない。次に、安心安全で暮らせる島とするための港湾・ヘリポート整備。これに大きな比重をかけていきたい。限られた資源をこの大型事業に注力する。地方創生はこういったところに国・都の力を借りる意味合いだと思っている。

産業振興の基盤を作るために住宅整備・農業振興等を進めている。外郭団体の指導・助言も依頼し進めている。

都・三宅村・御蔵島村合同防災訓練について

【質問】 中止となったが、今後の計画を伺いたい。

(回答) 村長：10月の総合防災訓練は諸般の事情により中止となってしまったが、来年度に再度計画・実施するよう要望している。また、併せて都総務局の危機管理監に視察を依頼している。12月18日には三宅村と災害協力における協定を結ぶ予定。

村営住宅、職員住宅建設の進捗状況について

【質問】 数度の入札不調で9月議会にて「決まり次第報告する」とあったが、現在の進捗状況について伺う。

(回答) 産業課長：村営住宅については、9月に契約締結し26年度末に完成予定。今回、地盤補強について補正予算を追加している。

(回答) 企画財政係長：職員住宅は、ご承知のとおり入札不調が続き、年度内執行は難しいため、繰越し予定となっている。今後のスケジュールについては、27年度中の工事完了を目指す。

育苗施設の契約について

【質問】 実施計画の提出はあったか、また本年度残り3カ月で何か栽培できるのか。

(回答) 産業課長補佐：9月議会では計画を進めていると回答したが、まだ計画の提出はない。ただ、年度も残り少ないので、野菜類は栽培実績につなげるべく、ハウス内で生産している。

汚泥処理施設について

【質問】 27年度から実施する認識で良いか、また予算の見込みはいかほどか。

(回答) 総務課長：本年度に詳細設計、平成27年度に施工予定。1億2千万円から1億3千万円の見込み。

栗本 範一 議員**次年度の村内選挙について**

【質問】27年度は4月に村議会議員選挙、10月に村長選挙が予定されている。経費削減の観点より、4月に村議会と並んで村長選挙を実施する、すなわち4月に、大義ある村長辞職をお願いしたい。

(回答) 総務課長：御蔵島村議会における27年度統一地方選は平成27年4月26日。選挙により住民の審判を受けた地方公共団体の長の任期は4年と定められている。当然その任期中は職務を全うすることが前提であり、正当な理由なく辞職することは慎むべき。また、公職選挙法の規定により、仮に、現村長が4月の統一地方選に併せて辞職した上で立候補し、再選された場合、任期は残任期間となり10月に再び村長選が必要となる。

定住促進について

【質問】今いる住民を出さないことが急務と考える。本村の施策は子供やその親にとっては手厚いものであるが、今一度見直しをかけ、この島に住んでいた方が“お得”だという認識に改めていくことが必要だと考えるが、いかがか。

(回答) 総務課長：定住促進を進めるためには、産業振興等による働く場、人の創出が必要。しいては住宅建設につながる。持ち家のための宅地分譲等も当然取り組む必要がある。6月議会でも回答したとおり、高校進学時の家族転出については、個々の家庭の事情もあり、単に助成金の見直しだけでは解決する問題なのか疑問。財源確保の問題も合わせて熟考しなければならない。村としては、住宅事情を改善し、人口増加につなげられれば就学児童生徒の増加も見込めると考えている。

黒田 正道 議員**産業振興について**

【質問】赤沢地区での明日葉の生産について、土地の貸し出し、モノレールの整備等を行っているが、利用（販売・加工）についての計画を伺いたい。また、ヘンゴの試験栽培を行っているが、これもどのように産業として利用するのかわからない。イルカ以外の産業振興を来年度の予算にどのように反映させるのか伺いたい。

(回答) 産業課長補佐：赤沢地区においては、農地・モノレールを整備して一般に貸し出している。利便性や収穫量の向上を図るため、今年度から村道の整備を進めている。生産者から加工販売等について相談を受ける場合は、村として協力は惜しまない。

来年度からは地産地消「明日葉、里芋、エビネ」などの販売促進、及びヘンゴを原料とした焼酎造りなどを島民及び島外からの就労者受け入れにより、規模拡大を図る。南郷地区の村有地の活用を行い、観光との連携、6次産業化を想定した「かんがい計画」を策定していく。

南郷山荘の利用計画について

【質問】来年度からは南郷山荘の利用について何等かの動きがあると思うが、今現在での計画（利用の仕方や時期）などについて伺いたい。

(回答) 産業課長補佐：南郷山荘の利用及び設置要綱を制定し、平成27年1月からの運用準備をしている。基本的には利用者は村民を想定しており、利用料は設定しない。

来年度の主要事業について

【質問】 次回平成27年第1回定例会の前に来年度の事業で主要なものについて、今現在何を予定しているのか伺いたい。

（回答） 企画財政係長：村税、交付税などの税収減が見込まれる厳しい財政事情の下、平成27年度以降は大型の普通建設事業の増加が予想される。事業の優先度を見極めつつ、行っていく。以下の主要事業は、来年度予算計上を担保するものではない。

- ・ヘリポート整備事業 (平成27～28年度)
- ・たりぼう、森山ヶ下住宅整備事業 (平成27年度以降)
- ・汚泥処理施設整備事業 (平成27～28年度)
- ・赤沢線道路改良 (平成26～31年度)
- ・光ケーブル敷設事業 (平成27年度以降可能性あり)

栗本 道雄 議員

島内の下水処理施設について

【質問】 村では単独浄化槽、合併処理浄化槽により下水処理を行っている。村ではさらに汚泥の最終処分場も建設予定だが、今後の計画について伺いたい。また、浄化槽の普及率などは把握しているのか。またその普及の促進についてはどう取り組んでいるのか。

（回答） 総務課長：単独処理浄化槽47基、合併処理浄化槽43基、し尿汲み取り10戸を把握しており、普及率としては90%。単独及びし尿汲み取りについては、合併浄化槽への設置替えが必要と考えている。補助制度もあるので利用していただきたい。汚泥処理施設については来年度施工予定。今後処理料の設定も検討しなければならない課題もある。

（追加質問） 現在、浄化槽は個人の財産であるが、村が買い取り、修繕するなどして村による維持・管理はできないか。

【回答】 総務課長：ご指摘の内容そのままでは、利用料が莫大となってしまおうと思われる。汚泥処理についても処理料が発生する見込みであり、簡単ではない。

南郷・洲崎の歩道について

【質問】 今後も村の維持管理と考えていいか。最近洲崎の歩道については改修されたようで、観光客は利用しない住民向けの道ではあるが、南郷歩道についての計画も伺いたい。

（回答） 産業課長補佐：今後も村が管理し、必要に応じ対応する。南郷の歩道については工事発注できているので、今年度中に改修予定。

携帯電話の不通地域解消について

【質問】 町村議長会からも要望しているが、村としても積極的なはたらきかけをお願いしたい。

（回答） 企画財政係長：今年6月に関東総合通信局に携帯電話等エリア整備事業補助を申請した。この補助制度は村が携帯基地局（鉄塔等）を整備し、各携帯電話事業者が伝送路を整備する事業に対する補助制度であるが、事業者から整備の希望がなかった。今後も継続的に申請を行う。

議長活動報告

平成26年10月21日～平成26年12月31日

- 10月23日 御蔵島村公共施設等整備検討専門部会
- 10月26日 伊豆大島・土砂災害追悼式
- 10月27～29日 新潟県粟島浦村視察（中止）
- 10月30日 東京都道路整備推進大会
- 11月1日 八丈町・町制施行60周年式典
- 11月10日 東京都町村議会議長会臨時総会
- 11月11日 離島振興市町村議会議長会全国大会
- 11月12日 町村議会議長会全国大会
- 11月13～14日 東京都町村議会議長会、優良町村視察（福島県西郷村）
- 12月8日 御蔵島村議会全員協議会
- 12月11日 御蔵島村議会定例会
- 12月15日 国土交通省・都へ港湾建設要望活動
- 12月16日 東京都副知事等訪問

定例議会予定

平成27年御蔵島村議会第1回定例会

平成27年3月10日（火）開会予定

御蔵島村議会に関するお問合わせは・・・
御蔵島村役場／総務課／総務係／議会事務局
〒100-1301 東京都御蔵島村字入かねが沢
TEL： 04994-8-2121
Fax： 04994-8-2239